

水産業強化支援事業事後評価報告書

宮崎県漁業管理課

政策目的	水産資源の持続的な利用・管理の推進	
政策目標	資源増養殖目標	H31-1
事業実施主体	串間市漁業協同組合	
実施地区名	串間市西地区	
実施期間及び目標年度	実施期間	目標年度
	令和元年～2年度	令和4年度
交付金額	77,991千円	
事業計画の内容	養殖施設の整備 養殖係留施設 $\left(\begin{array}{l} 10\text{m} \text{ 角生け簀 } 20 \text{ 台分} \\ 30\text{m} \text{ 円形生け簀 } 3 \text{ 台分} \end{array} \right)$	
評価	成果目標	出荷数量の増加
	現状値	7,950 トン（令和4年実績）
	目標値	8,971 トン（令和4年時点）
	(1) 現状値の説明	串間市の漁場から出荷されたぶり類（ぶり、かんぱち）の出荷数量の合計。（串間市漁業協同組合 集計）
	(2) 地域への経済効果（ハード事業のみ）	令和2年には、目標値を大きく上回る 9,532 トンを出荷できたことにより、整備により飼育可能尾数が増加し、効果が十分に得られたことが明らかになった。
(3) 所見	地域の主力魚種であるブリの出荷数量が少なかった要因は、令和3年度の新型コロナウイルス感染拡大による需要の減少や令和4年度の全国的なブリ稚魚の不漁によるブリ単価の上昇により、市場でのブリの買い控え等が起こったため目標未達となったと考えられた。	
(4) 評価機関の意見等	—	
今後の改善方向等に関する分析	<p>ブリ類の出荷に係る飼育尾数は出荷量の基準年である平成25-29年平均（1,599千尾）から令和2-4年平均（1,901千尾）にかけて18.9%増加しており、整備効果は十分発揮できているものと考えられた。</p> <p>そのため、市況が通常通りとなれば、出荷数量の目標は達成されるものと考えられる。</p>	